

くにたち

日本の鉄道は開業以来、多くの人々の誠実な勤務により長年にわたり守られてきました。かつてのような、ピーター（つるはし）を振り下ろしながら全て人力で行う保線作業、交代勤務による踏切や変電所などの有人監視、深閑とした山中での土砂災害警備といった光景はほとんど見られなくなりました。しかし、現在もなお、設備の故障や災害、事故から鉄道を守る人々や設備と、これを支える技術、施策および制度によって鉄道は安全に、安定して運営されています。

今月号では、鉄道を「守る」ための技術に焦点をあてて、鉄道総研の最近の取り組みについて紹介しました。設備の老朽化や、事故・災害、サイバー攻撃や支障物から鉄道を「守る」技術や、事故から旅客を「守る」技術など、さまざまな分野において総合的な研究開発が行われています。今後も、鉄道が選択される交通機関であり続けるために、「守り」を維持、強化するための研究開発を進めていきます。

さて、次号の特集では、「鉄道におけるつなぐ技術」と題して、構造物、レール、電線などの鉄道システムを構築するために必要な物理的な「つながり」や、運行やメンテナンスの効率化のための情報の「つながり」に関する、さまざまな技術を紹介する予定です。どうぞご期待ください。(S.S.)

RRR

ご注文は(一財)研友社へ
TEL: 042-572-7157
FAX: 042-572-7190
<https://www.kenf.jp/>

次号予告

2025年1・2月号 (Vol.82 No.1)

特集 鉄道におけるつなぐ技術

*タイトルは変更する場合があります。

■鉄道総合専門誌■

JR gazette
JRガゼット 定価639円+送料88円
(ともに消費税込み)
年間購読料7,668円
(消費税込み+送料サービス)
鉄道事業各社の業務運営に供する

■ 12月号主要目次 ■

特集：設備保守の適正化
連載等
●鉄道の未来を創る研究開発
軌道分野の将来に向けた研究開発
●GLOBAL REPORT
パリ2024オリンピック・パラリンピック
競技大会期間中の多客対策について
●知るバス
KEIKYU OPEN TOP BUS MIURA
新車導入でコースをリニューアル

発行所
(株)交通新聞社
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-3-11

図書のご注文は、
TEL 03(6831)6622
FAX 03(6831)6624

鉄道総研イベント情報

2024年
12月19日(木)

第371回 鉄道総研月例発表会
電力技術および浮上式鉄道技術に関する
最近の研究開発

日本工業倶楽部会館

2024年
12月25日(水)

2024年度 Annual Meeting
今、改めて巨大地震への備えを考える

日本工業倶楽部会館

※詳細は鉄道総研ウェブサイトでご案内させていただきます。